

参考資料

1. 再整備事業の概要

市民病院再整備事業は、病院運営を継続しながら、同一敷地内に新しい東館を建設する計画としたため、解体→建築→解体を繰り返す中、電気・ガス・水道などの切り替えを行うなど、かなりの難工事となりました。

新しい東館については、東日本大震災を教訓に免震構造とするなど、災害時にも診療を継続し、災害時の医療拠点病院としての機能を維持できるよう整備しました。

外来機能は、東館 1 階から 2 階にほぼ集約し、CTをはじめとする放射線診断や内視鏡センターなどの検査室は 3 階に配置するなど、患者さんに配慮した、わかりやすい配置としました。また 1 階から 3 階までをエスカレーターや専用エレベーターで結び、行き来のしやすさに配慮しました。病室については、旧東館病棟と比べスペースを拡大し、快適な療養環境を実現しました。

また、再整備初期の段階において、病院敷地内に消防局の救急ワークステーションも建設しております。救急ワークステーションは、救急車を配備し、119 番通報と同時に必要に応じ市民病院の医師が救急車に同乗して、現場に駆け付け迅速に救命活動や診療を可能とする体制を確保しております。

このほか、患者さんの利便性向上を図るため、正面入口前のロータリーには、路線バスの専用レーンと停留所を設け、バスの乗り入れを実現したほか、平面駐車場（54 台）を増設しました。

これからも市民の皆さんに安心してご利用いただけるよう、より良い病院を目指してまいります。

2. 再整備事業のこれまでの経過

平成 23 年 1 月	基本構想・基本計画策定に向けた準備を開始
平成 23 年 10 月	藤沢市民病院再整備基本構想・基本計画の公表 再整備事業の事業者公募を開始
平成 24 年 3 月	設計施工一括発注・公募型プロポーザル審査の実施、 最優秀提案者の選定
平成 24 年 5 月	再整備事業の契約締結、再整備事業へ着手
平成 24 年 7～8 月	工事車両用通路・仮設駐輪場の整備、白藤寮の解体完了
平成 24 年 11 月	基本設計完了、別館、立体駐車場エレベーター、救急ワーク ステーションの建設に着手
平成 25 年 3 月	立体駐車場エレベーターの供用開始
平成 25 年 7 月	別館、救急ワークステーションの供用開始

- 平成 25 年 11 月 旧東館北側の付属建物解体、新しい東館の建設準備工事が完了
- 平成 25 年 12 月 東館本体工事に着手
- 平成 27 年 9 月 東館（外来ホール・エントランス等一部を除く）が完成し、外来の一部及び病棟の供用を開始
- 平成 27 年 10 月 西館等改修工事に着手
- 平成 28 年 2 月 西館等改修工事（病棟部分）が完成し、病棟の供用開始
旧東館の一部を解体開始
- 平成 28 年 6 月 西館等改修工事（エレベーター・外壁等）が完成し、引渡
- 平成 28 年 8 月 旧東館の一部の解体工事が完了
- 平成 28 年 9 月 東館の残りの部分（外来ホール等）の建設開始
- 平成 29 年 10 月 東館の残りの部分（外来ホール等）が完成し、供用開始
- 平成 29 年 12 月 旧東館の残り全部を解体開始
- 平成 30 年 3 月 旧東館の解体工事が完了
- 平成 30 年 4 月 外構工事を開始
- 平成 30 年 7 月 外構工事が完了し、すべての工事が終了

3. 藤沢市民病院の基本情報

		病床数（全館）
昭和46年10月	開院 保険医療機関に指定 労災保険医療機関に指定 生活保護法医療機関に指定 更生医療医療機関に指定	一般病床300床、伝染病病床30床
昭和46年12月	救急告示病院に承認 療育医療機関に指定	↓
昭和50年 3月	臨床研修指定病院に指定	
平成 元年 3月	西館（新館）建設	
平成 3年 4月	東館（本館）改修	一般病床400床、伝染病病床30床
平成10年 3月	災害拠点病院に指定	一般病床500床、伝染病病床30床
平成11年 4月	第二種感染症指定医療機関に指定	↓
平成12年 4月	地域医療支援病院に承認	
平成15年 4月	歯科医師臨床研修指定病院に承認 小児救急医療拠点病院に指定	一般病床500床、感染症病床6床
平成17年 1月	地域がん診療連携拠点病院に指定	↓
平成18年12月	救命救急センターに指定	
平成20年 4月	DPC対象病院に承認	一般病床530床、感染症病床6床
平成24年 5月	再整備事業に着手	↓
平成30年 7月	再整備事業が完成	
		現 在

4. 写真データ

病院総務課及び広報課にて提供します。

以 上